

事業シート(平成29年度決算)

事業名	20120 訟務事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野		市長公約
			款	2	総務費		個別分野		
			項	1	総務管理費		施策概要		
			目	1	一般管理費		根拠計画		
担当課	総務部 危機管理課	内線	2466						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・法律の専門家への相談体制を構築し、公正な公務の確保と係争行政基盤の強化を図る。	概要	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談を行う。 ・行政訴訟においては弁護士を訴訟代理人に立て対応する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H28		H29			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		6,806	6,787	5,254	5,254	2,035	△ 4,752
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		6,806	6,787	5,254	5,254	2,035	△ 4,752
個票枝番	主な事業内容						
	訟務事務費	6,806	6,787	5,254	5,254	2,035	△ 4,752

4.平成30年度予算編成(Action)

		H30		実施計画額		-
		要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
		5,259	5,254	5,254	0	
査定額		説明				
		5,254				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談体制を構築した。(相談実績42回) ・民事訴訟事件について弁護士を訴訟代理人に立て対応した。
評価等	・顧問弁護士への相談結果を記録し担当課で共有することで、公平・公正な行政運営の実現と職員の法制能力の向上に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・行政活動に係る法的紛争を未然に防止するため、顧問弁護士相談の活用が必要である。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談体制を構築した。(相談実績57回)
評価等	・顧問弁護士への相談結果を記録し担当課で共有することで、公平・公正な行政運営の実現と職員の法制能力の向上に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・行政活動に係る法的紛争を未然に防止するため、顧問弁護士相談の活用が必要である。

施策の実施方針	・公正な公務の確保と係争行政基盤の強化
担当課予算要求ポイント	・顧問弁護士を設置し、法律問題の相談体制を構築する。
財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21300 総合防災訓練事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	7	防災	
			項	1	総務管理費		施策概要	1	地域の防災力の向上と市民初動体制の確立	
			目	13	災害対策本部費		根拠計画	高山市地域防災計画		
担当課	総務部 危機管理課	内線	2466							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・防災訓練を通じて地域の防災力を向上させるとともに、市民の防災意識の高揚を図る。	概要	・総合防災訓練(9月) ・土砂災害・全国防災訓練(6月) ・火山防災訓練(11月)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
地域防災リーダーがいる町内会の割合	56.54%	59.01%	60.00%
災害時応援協定締結団体数	74団体	75団体	80団体
火山防災協議会設置数	4協議会	4協議会	3協議会

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,000	3,448	4,100	3,748	3,519	71
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		4,000	3,448	4,100	3,748	3,519	71
個票枝番	主な事業内容						
	総合防災訓練事業費	4,000	3,448	4,100	3,748	3,519	71

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

H30		実施計画額		4,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,192	4,100	4,100	0	
4,192	4,100	4,100	0	
査定額	説明			
4,100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁及び各支所において住民避難訓練をはじめとする総合防災訓練を実施した。(参加者2,600名)</li> <li>・上宝町長倉地区で土砂災害防災訓練を実施した。(参加者143名)</li> <li>・奥飛騨温泉郷地域を対象に焼岳噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者512名)</li> <li>・朝日、高根地域を対象に御嶽山の噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者169名)</li> </ul>
評価等	・住民避難訓練、災害図上訓練(DIG)、発災型対応訓練など住民参加型の実践的な訓練を行い、市民の災害初動体制の確立を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の防災意識の維持・高揚のため、継続して実践的な防災訓練を継続する必要がある。</li> <li>・訓練内容の高度化を図るため、災害対策本部訓練において専門家(外部講師)の指導によるブラインド型訓練の実施を検討する必要がある。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H28完了
- H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁及び各支所において住民避難訓練をはじめとする総合防災訓練を実施した。(参加者3,800名)</li> <li>・岩滝地区で土砂災害防災訓練を実施した。(参加者346名)</li> <li>・奥飛騨温泉郷地域を対象に焼岳噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者546名)</li> </ul>
評価等	・住民避難訓練、災害図上訓練(DIG)、発災型対応訓練など住民参加型の実践的な訓練を行い、市民の災害初動体制の確立を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の防災意識の維持・高揚のため、継続して実践的な防災訓練を継続する必要がある。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H29完了
- H30完了予定

施策の実施方針	・防災体制の整備
担当課予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスによる避難や全市民が参加できるシェイクアウト訓練の実施など住民が実際に動きのある実践的な訓練を行う。</li> <li>・専門家を総合防災訓練に招聘し、講評・監修していただくことで、訓練内容の高度化を図る。</li> </ul>
財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・自然災害などの発生時に地域や避難所のリーダーとなれる市民防災リーダーの育成に努めます。
			款	2	総務費		個別分野	7	防災		
			項	1	総務管理費		施策概要	2	防災体制の充実		
			目	13	災害対策本部費		根拠計画	高山市地域防災計画			
担当課	総務部 危機管理課	内線	2466								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然災害等発生時に市民の生命や財産を守る総合的な防災体制を構築する。	概要	・防災行政無線、防災ラジオ等による多様な情報伝達手段を確保する。 ・防災備蓄品の計画的な購入をすすめる。 ・災害時応援協定の締結により防災体制を充実させる。
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
地域防災リーダーがいる町内会の割合	56.54%	59.01%	60.00%
災害時応援協定締結団体数	74団体	75団体	80団体
火山防災協議会設置数	4協議会	4協議会	3協議会

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28		H29				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	166,920	134,548	117,452	117,804	111,469	△ 23,079	
特定財源							
国費 ( 災害対策事業費 1/2 )							
県費 ( ライフライン保全対策事業費 1/2、清流の国ぎふ推進補助金 )	7,250	4,317	6,875	6,875	7,036	2,719	
その他( 夢・まちづくり基金収入 他 )	17,820	11,958	17,070	17,070	25,843	13,885	
一般財源	141,850	118,273	93,507	93,859	78,590	△ 39,683	
個票枝番	主な事業内容						
	自動起動防災ラジオ普及に対する助成	10,000	7,584	10,000	10,000	7,459	△ 125
	道路沿線立木の伐採によるライフライン保全対策	29,000	17,269	27,500	26,947	26,346	9,077
	流木災害防止のための倒木処理に対する助成						
◎ 1	避難所運営リーダーの育成			900	900	923	923
◎ 2	防災備蓄物資等購入	8,200	6,970	12,000	12,000	9,397	2,427
	ハザードマップの更新						
	映像中継システムの導入						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

H30		実施計画額		89,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
128,969	178,052	178,052	60,600	
	8,750	8,750	1,875	
	22,240	22,240	5,170	
128,969	147,062	147,062	53,555	
査定額	説明			
10,000				
49,000				
900				
16,800				
22,500				
1,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・東日本大震災で実際に避難所運営に関わった防災リーダーを講師に招きエキスパート研修会を開催した。(研修会参加者193名) ・倒木によるライフライン被害を軽減するため沿線立木の伐採を行った。(5路線、4501本) ・災害現場を空撮し被害状況の把握に役立てるため無人航空機(ドローン)を購入した。 ・災害用備蓄として、新たにスターリングエンジン付ストーブを導入した。
評価等	・防災エキスパート事業により、地域防災力の向上を促進した。 ・地域が主体的に避難所の運営を行えるよう、避難所運営リーダーの育成、避難所運営マニュアルの見直しをすすめる必要がある。 ・車中泊避難者への対応など防災備蓄品の拡充が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・避難所の自主的な運営に協力できる人材育成のため、日本防災士機構のカリキュラムに即した避難所運営リーダー育成講座を開催した。(参加者36名) ・倒木によるライフライン被害を軽減するため沿線立木の伐採を行った。(7路線、5,598本) ・調理に水が不要な主食や簡易ベッド、テント等を購入した。
評価等	・避難所運営リーダーの育成により、地域防災力の向上を図った。 ・車中泊避難者への対応のため、簡易ベッドやテント等を購入した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・防災体制の整備
担当課 予算要求 ポイント	・災害時における自助、共助を促進するための防災リーダーの育成 ・ハザードマップの更新 ・災害現場映像中継システムの構築 ・Jアラートの更新
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

## 主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H29新規	<input type="checkbox"/> H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総務部 危機管理課
枝番・内容	1 避難所運営リーダーの育成		<input type="checkbox"/> H29拡充	<input type="checkbox"/> H30拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2466	
		<input type="checkbox"/>		目		13	災害対策本部費	作成年月	H30.8	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・避難所の運営に協力できる人材を育成し、地域防災力の向上を図る。	概要	・日本防災士機構のカリキュラムに即した防災研修の実施
----	----------------------------------	----	----------------------------

## 【参考】H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## 【参考】H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	900
主な経費	・避難所運営リーダー育成講座委託	
対前年度増減額(当初予算)		900

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	900
	繰越	0
	補正等	0
	最終	900
決算額		923
対前年度増減額(決算)		923

## H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	900
主な経費	・避難所運営リーダー育成講座委託	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の運営に協力できる人材を育成するため、地域住民を対象とした防災研修会を開催する。</li> <li>・日本防災士機構が定めるカリキュラムに即した講座とし、防災士と同等程度の知識、技術の修得ができるものとする。</li> <li>・受講終了後、希望者には防災士資格受験資格が得られる。</li> </ul>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期 研修カリキュラムの検討</li> <li>・下半期 受講者募集 講座開催</li> </ul>	

事業実績、評価等	
<p>・延べ4日間の避難所運営リーダー育成研修会を開催した。(参加者36名)</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の運営に協力できる人材を育成するため、地域住民を対象とした防災研修会を開催する。</li> <li>・日本防災士機構が定めるカリキュラムに即した講座とし、防災士と同等程度の知識、技術の修得ができるものとする。</li> <li>・受講終了後、希望者には防災士資格受験資格が得られる。</li> </ul>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期 研修カリキュラムの検討 受講者募集</li> <li>・下半期 講座開催</li> </ul>	

## 主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> H29新規	<input type="checkbox"/> H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総務部 危機管理課
枝番・内容	2 防災備蓄物資等購入		<input checked="" type="checkbox"/> H29拡充	<input type="checkbox"/> H30拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2466	
		<input type="checkbox"/>		目		13	災害対策本部費	作成年月	H30.8	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共備蓄をすすめ災害から市民の生命を守る。	概要	・災害に備えるため防災備蓄品を計画的に購入する。
----	------------------------	----	--------------------------

## 【参考】H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	8,200
	繰越	0
	補正等	0
	最終	8,200
決算額		6,970
対前年度増減額(決算)		2,619

## 【参考】H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	12,000
主な経費	・防災備蓄品の購入	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	12,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	12,000
決算額		9,397
対前年度増減額(決算)		2,427

## H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	16,800
主な経費	・防災備蓄品の購入	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害想定に基づき災害用備蓄食糧を購入した。</li> <li>避難所で活用するため、ロケットストーブを導入した。</li> </ul> <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命を維持するために必要となる食料等を被災直後から提供できるよう公共備蓄をすすめた。</li> <li>ロケットストーブを導入し、一般市民への認知度を高めるため、本庁及び支所で展示、貸出を行った。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H28完了</li> <li><input type="checkbox"/> H29完了予定</li> </ul>

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>備蓄計画に基づき災害用備蓄食料を購入する。</li> <li>テントや簡易ベッド、非常用電池などの災害備蓄品を拡充する。</li> </ul>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期 テント、簡易ベッドの購入</li> <li>・下半期 備蓄食料の更新</li> </ul>	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所での配布、使いやすさから調理の手間のかからない水の不要な食料米を購入した(12,000食)</li> <li>車中泊避難者や配慮が必要な方のための、災害用テント、簡易ベッドを新たに購入した。(各50台)</li> </ul> <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命を維持するために必要となる食料等を被災直後から提供できるよう公共備蓄をすすめた。</li> <li>車中泊避難者や配慮が必要な方のため、災害用テント、簡易ベッドを新規購入した。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新期限を考慮し、計画的に備蓄をすすめる。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H29完了</li> <li><input type="checkbox"/> H30完了予定</li> </ul>

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存年限を踏まえ、計画的に防災備蓄品を更新する。</li> </ul>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期 更新期限を迎える防災備蓄品を訓練等で使用し有効活用</li> <li>・下半期 防災備蓄品の購入、分散配置</li> </ul>	